

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

目指すべき姿

ココロとカラダのサポートを通じて皆さま方に寄り添い、「ベストなソリューション」をお届ける

PBR
1.6倍ROE
6.1%ROIC
1.9%

② 中長期の経営戦略

1. ウェルネス事業の成長加速

フィットネス・保育・介護をコア事業として、ピラティススタジオ「スターピラティス」出店や認可保育園グループイン等を推進

2. 保育事業の特長強化

英語に触れる機会やオリジナルサーキット運動など特長あるプログラム充実で待機児童問題解消や女性活躍推進に貢献

3. 介護事業の拡大

就労支援B型事業所「リバイブ」の複数出店により、60～90代利用者と障がい者を支援

4. 人材育成への投資

現行サービス向上・開発のための人材育成に力を入れ、時代やニーズに応えられるサービス提供体制を構築

③ 対処すべき課題

① 経済環境の不透明性への対応

- ・米国の通商政策の影響や物価上昇への対応が必要
- ・経済活動の回復期待がある一方で不確実性が続く状況での経営判断

② サービス品質と成長の両立

- ・現行サービスの更なる向上と新規開発のバランス確保
- ・多角事業展開（不動産賃貸・オンラインクレーンゲーム・コールセンター等）との連携

③ 人生100年時代への対応

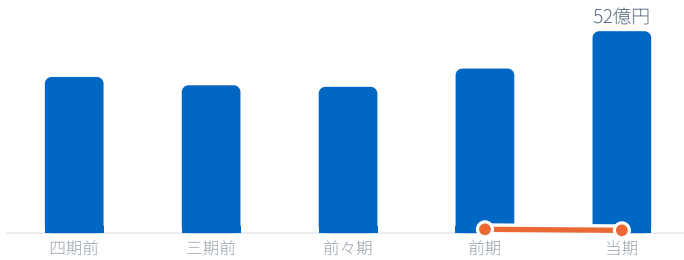
- ・ジュニアからシニアまで幅広い年齢層への健康支援サービス提供
- ・充実した余暇の実現を含む包括的なウェルネス提供

面接で使えるポイント

- ・保育・フィットネス・介護の3事業でジュニアからシニア層まで対応し、人生100年時代の健康支援を目指している企業
- ・「スターピラティス」や就労支援B型「リバイブ」など新規事業展開で、社会課題（待機児童・障がい者支援）解決に貢献
- ・ウェルネス事業成長とコスト削減を両立させながら、時代ニーズに応えられる人材育成を重視する経営方針

証券コード 4650

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
札幌市に本拠地を置く上場企業で、直近期の連結売上は42億円

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
52億円営業利益率
1.4%財務健康度
21点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 33.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
434万円

サービス業内 473位/524社

平均年齢
41.2歳

サービス業内 158位/527社

平均勤続
7.0年

サービス業内 244位/527社

女性管理職
25.0%

サービス業内 126位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 43位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: S Dエンターテイメント(株)【4650】：決算情報

